



【編集・発行】NPO法人金澤町家研究会／広報交流部会

■「森のなか」本多の森にて（10月14日（土）-15日（日））参加しました

10月14日（土）、15日（日）の2日間「森のなか」（いしかわ百万石文化祭2023 オープニングイベント「文化絢爛」）に参加しました。本多の森公園一带に約100店舗の飲食や工芸品販売のテントが並びました。

金澤町家研究会は石川県立美術館広坂別館の和室にて、町家箱作りワークショップを行いました。1日目はさわやかな秋晴れ、2日目は時折雷雨に見舞われましたが、会場は多くの人で賑わっていました。

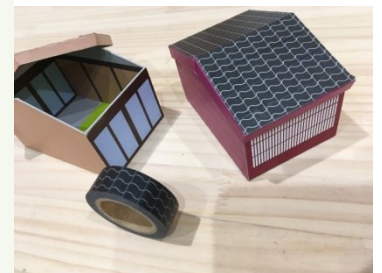
これまでも「春らら市」や「金澤町家巡遊」などで行っている町家箱作りは、壁や畳、窓、格子など好きなデザインを選んで貼り、屋根は「金沢くろ瓦マスキングテープ」で仕上げます。小さなお子様でも作ることができるペーパークラフトで、金澤町家研究会のメンバーがサポートしながら自分だけの金澤町家を作ることができます。

また当日は、会場にてパンフレットを配布するなど、金澤町家や金澤町家研究会の活動に関する情報発信を行いました。

乙女の金沢展ブログ「森のなか」 <http://otomekanazawa.jugem.jp/?eid=551>



ワークショップの様子



町家箱

■「優良金澤町家」レポート

2010年度に開始した「優良金澤町家」認定は、昨年度までに151軒の金澤町家を認定し、当初制作したプレート数に達したこと、2020年度より金沢市による「特定金澤町家登録制度」も始まったため、2022年度をもって認定を終了いたしました。今年度はこれまでに認定させていただいた町家の現況について調査することにし、本研究会の調査員10名が担当して、2023年7~9月にかけて建物の外観調査を実施しました。

調査結果につきましては、金澤町家研究会ホームページにて公開しておりますので、下部のURLまたは二次元バーコードを読み取りご覧ください。

↓優良金澤町家レポートを見る

<https://kanazawa-machiya.net/efforts/yuuryomachiya/>



「優良金澤町家」レポート

■金澤町家情報バンク

「金澤町家情報バンク」は町家の流通促進を図るための情報サイトで、平成17(2005)年度に開設され、金沢市が管理・運営を行い、来年度には20年目を迎えます。平成23(2011)年度からは金澤町家流通コーディネーター事業の開始とともに当研究会が登録受付の窓口となり、掲載資料の作成などを行っています。令和2(2020)年度よりページデザインがリニューアルされ、スマホやタブレットからも検索・閲覧がしやすいものとなりました。物件概要のほか、建築士による建物調査(目視)が記載されており、金澤町家の利活用を検討するうえで参考になることと思います。成約率は約80%と町家の情報提供システムとして有効に機能しており、金澤町家の利活用を検討される方は、是非、ご利用ください。



金澤町家情報バンク トップページ

<http://bank.kanazawa-machiyajouho.jp/>

■「金澤町家塾」金澤町家探訪／金澤町家を学ぶ講座を開催しました

金澤町家情報館の開館以降、同館の利活用も兼ね、毎年、NPO 法人金澤町家研究会が協力し「金澤町家塾」事業を実施しています。金澤町家探訪は金澤町家情報館にて事前に収録した探訪の映像を見ながらガイドによる解説を行い、その様子をオンラインで配信しました。金澤町家を学ぶ講座も金澤町家情報館での参加に加えて、オンラインで配信しました。県外からオンラインで視聴いただいた方もあり、オンライン配信の効果もありました。

■金澤町家探訪上映&解説トーク「小立野界限・天空迷路を巡る歴史探訪」

令和5年11月11日(土)10時～11時30分開催

ガイド：増田達男(金沢工業大学名誉教授)

背後に崖斜面の大樹が茂る医療センターと飛梅町には長い土塀が残っています。迷路のような裏通りを抜けると天空の見晴らしが広がります。旧街道の町家筋を通して天徳院の山門までのまちなみを解説しました。

■金澤町家を学ぶ「かなざわのともだち業 一棟貸切宿／民泊「旅音(TABI-NE)」の取り組み

令和5年12月9日(土)15時～16時30分開催

講師：林俊伍(株式会社こみんぐる取締役)

2016年創業の「旅音」は、金沢市内で一棟貸切宿を中心に25棟以上運営し、県内最大の約250名を収容可能。その中には金澤町家を活用したものもあり、その運営や宿泊者との交流、地域活動についてお話しいただき、川上光彦(NPO法人金澤町家研究会理事長)による司会進行で、会場やオンライン参加者と様々な意見交換を行いました。



まち歩きの様子(スクリーンショット)



会場の様子(探訪上映&解説トーク)



会場の様子(金澤町家を学ぶ)

■町並み&まちづくり拝見・第2回「石川・大聖寺の町並み」

《このコーナーでは、金沢市以外の歴史的町並みやそこでのまちづくり活動を紹介していきます。》

加賀市大聖寺は前田利常の三男利治に分領され、加賀藩の支藩となった城下町でした。現在も当時と同様の武家地や町人地の佇まいが残されている地区が多くあります。加賀市では、そうした伝統的住宅を「大聖寺町屋」と名付けて、保存・活用に対して再生事業の支援を行っています。特に町人系の住居は、近代化とともに発展した金沢に比べて古い様式の町屋が残され、また、越前瓦の赤瓦が多く使われているといった特徴があります。

しかし、少子高齢化に伴う人口減少の影響を受け、こうした町並みも失われつつあります。平成17年の調査では大聖寺旧市街地に戦前に建築された住宅が376軒確認され、そのうち、町人系住宅が194軒、武士系住宅が55軒残されていました。それ以降の調査が行われていなかったため、今年、加賀市出身の金澤町家研究会メンバー2人で悉皆調査を行いました。その結果、この18年間に戦前住宅の約3割が失われていました。空き家の割合も増えています。新幹線開業を控えて大聖寺の魅力伝えるためにも、町並み保全により一層の取り組みが望まれます。(馬場先)



NPO法人
金澤町家研究会

【お問い合わせ】事務局

〒920-0854 金沢市安江町4番20号

Tel. 076-254-0647 / fax. 076-254-0657

E-mail kanazawa-machiya@nifty.com

<http://kanazawa-machiya.net>